

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程決定(令和4年3月17日開催)

2022年2月28日

地域理解・交流事業「宿泊研修」日程

～甲賀市・湖南市方面の医療と歴史・文化を学ぶ～

・3月17日(木)

滋賀医科大学(出発)〈12:20〉

↓

紫香楽病院(説明・研修)又は信楽散策〈12:45～13:35〉

↓

こうせい駅前診療所(説明・研修)又は水口病院〈14:20～15:00〉

↓

公立甲賀病院(説明・研修)〈15:20～16:10〉

↓

大学帰学〈16:50〉

【勉強会】A講義室へ移動

講演・意見交換会 ※Zoom配信にて

17:15～17:35 講演

「地域における甲賀病院の役割、滋賀医大理事からみた地域医療」等

公立甲賀病院 院長 辻川 知之 氏

17:35～18:30 意見交換会

令和3年度 「里親学生支援事業」学外研修会・意見交換会を開催しました

2月4日（金）ZOOM 配信にて「地域里親学生支援事業」の一環である「学外研修会・意見交換会」を滋賀医療人育成協力機構との共催で開催しました。

今回の研修会では、本事業の取組を振り返り、経験豊富な里親の先生方（松本道明先生、松井善典先生、木築野百合先生）をパネリスト、本事業の立ち上げに携われた埴田先生をアドバイザーにお迎えし、ディスカッションを行っていただきました。

先生方からは本制度の良さとして、今の若者との接点があることで今どきの学生の姿が見えてる、入学時から本制度が開始でき医師・看護師などの先生方と接点を持つ、学生とのふれあいにより自己のリフレッシュにもつながっている、などの意見がありました。

また、メールの反応が遅い、連絡がメールなので、過去のメール文を探したりするのが大変なので、今後はLineなど、他のツールに変更した方がよいのではといった改善点に関する意見があり、今後の連絡方法にも工夫が必要であることがわかりました。

今後の課題として、登録時から卒業まで同じ里親の先生ではなく、学年が進むにつれて、進路や興味が変わるので、再マッチングをしてみても？とのご意見もありました。

里子からも「医者と気軽に接したいと思い登録をしたが、今の里親の先生から返信がなく、どうしてよいか分からなかったが、先生方の思いを知り、自分から、もっと気軽にメールをしてみようと思った」との意見がありました。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、今年度もZOOM 配信による研修会となりましたが、当日は23名の里親の先生方、プチ里親の方々に参加いただきました。また里子も交え、意見交換が行われました。

今後の里親制度の在り方など、先生方の意見を踏まえ、より良いものにしていきたいと思っております。

お忙しい中、ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

2021年度 里親・プチ里親の研修・交流会

『里親・里子のペア制度』

これまでとこれから…

※滋賀医科大学地域里親学生支援事業として、里親（県内で活躍されている医療従事者）・プチ里親（地域の皆様）・里子（この制度の登録学生）が交流し、医療人としての心構え、地域医療の現状などを伝える場として毎年1回開催しています。